

請 願 ・ 陳 情 文 書 表

(陳 情)

陳情第13号

生活保護「冬季加算」の増額を国に働きかけることを求める陳情（不採択）

(陳情の趣旨)

食料品、日用品の相次ぐ大幅な値上げは大きな家計負担になっている。その上、ことし2月に18リットル1700円台であった灯油価格は、現在2300円を超え、この冬には2500円台にもなるという状況である。

生活保護世帯の1類（食料品等）の増額はなく、また、11月から3月まで支給される「冬季加算」は2004年から据え置かれたままで、憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」はできていない。

「せめて冬季加算をふやしてほしい」と切実な声が寄せられている。

昨年度は国が低所得世帯に対して緊急支援策を打ち出したことにより、青森市も「福祉灯油購入費助成事業」を実施したが、生活保護世帯は国の制度の中で対応するとして、この事業の助成対象から除外した。しかし、この1月末、現在の「冬季加算」の見直しが必要であると、佐々木市長が県市長会会長として、その増額を国に要請したところである。

灯油は積雪寒冷地の青森では命を守る生活必需品である。青森市として、下記について国に強く働きかけるよう陳情する。

(陳情事項)

積雪寒冷地の青森市として、生活保護「冬季加算」の増額を早期に実現するよう、国に強く働きかけること。

平成20年9月1日

陳 情 者 青森市長島三丁目17 - 6
青森生活と健康を守る会
会長 齋 藤 恵 子

陳情第14号

石油高騰から生活困窮世帯を守るための施策を求める陳情（不採択）

(陳情の趣旨)

灯油高騰は、積雪寒冷地の青森市民の生活を直撃している。国の緊急支援策を受けて、07年度、青森市は「福祉灯油購入費助成事業」を実施し、市民に歓迎されたが、ことし2月の灯油価格は18リットル1700円台であったものが、現在2300円を超え、この冬には2500円台にもなると予想される状況になっており、08年度も支援策の実施が強く求められている。

07年度に「福祉灯油」を申請して活用した世帯は対象世帯数の約半数であった。また、生活保護世帯は対象外とされた。

08年度も、生活困窮世帯を助成対象にした市民生活を守る施策を実施する体制を早急にとってほしい。対象となる世帯が「福祉灯油」を活用できるよう、周知方法を改善してほしい。「冬季加算」が増額されるまで、生活保護世帯を助成の対象外にしない支援策を実施してほしい。

石油の高騰は予想もしないほどになっている。積雪寒冷地の青森市として08年度の緊急支援策を実施

するよう強く求め、下記について陳情する。

(陳情事項)

生活保護世帯を含む生活困窮世帯を支援する2008年度の「青森市福祉灯油購入費助成事業」を実施すること。

平成20年9月1日

陳 情 者 青森市長島三丁目17 - 6
青森生活と健康を守る会
会長 齋 藤 恵 子
